

# 第40回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2017) 予稿集 原稿様式

## How to Write a SITA2017 Manuscript

SITA2017 事務局\*  
SITA2017 Secretariat

**Abstract**— This document provides information on a SITA 2017 manuscript.

**Keywords**— SITA2017, L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X, style file

### 1 はじめに

本稿には、SITA2017 予稿集の原稿の作成・提出に関する情報が記載されています。

### 2 予稿集用原稿の作成

投稿された PDF 原稿ファイルをそのまま USB メモリに収録して予稿集を作製します。また、原稿の著作権は、電子情報通信学会に帰属します。シンポジウム Web サイト (<http://www.ieice.org/ess/sita/SITA2017/>) に掲載してある注意事項を厳守して、PDF 原稿を作成して下さい。

#### 2.1 様式

- サイズ A4 判 (縦 297mm, 横 210mm)
- 論文題目, 著者名, あらまし, 本文等全てを含み最大 6 頁
- 論文題目が英文の場合は, 前置詞と冠詞を除き, 単語ごとに一文字目は大文字
- 印刷時の上余白 25mm 以上, 下余白 20mm 以上, 左右余白 17mm 以上
- 2 段組, 10pt 程度の文字
- PDF ファイル容量 3MB 以下

SITA2017 原稿の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X スタイルファイルおよび Word 用テンプレートが, SITA2017 ホームページ

<http://www.ieice.org/ess/sita/SITA2017/>

より入手できます。

#### 2.2 ヘッダ

PDF 原稿の第一頁において, 上余白 9mm(以上) 右余白 9mm(以上) だけ, 7pt 程度の文字で

The 40th Symposium on Information Theory  
and its Applications (SITA2017)  
Shibata, Niigata, Japan, Nov. 28–Dec. 1, 2017

\* 〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1 信州大学工学部電子情報システム工学科, Department of Electrical and Computer Engineering, Faculty of Engineering, Shinshu University, 4-17-1 Wakasato, Nagano 380-8553, Japan. E-mail: [sita-2017@mail.ieice.org](mailto:sita-2017@mail.ieice.org)

と記入して下さい。第二頁以降にヘッダは不要です。スタイルファイルを使用している場合, このヘッダは自動的に挿入されます。

### 2.3 第一頁に記載する事項

第一頁に次の事項を記載してください。

#### 1. 本文が和文のとき

- 論文題目 (和文と英文の両方)
- 著者名 (和文と英文の両方)
- 著者の所属, 所在地 (和文と英文の両方)
- あらまし (約 100 語の英文)
- キーワード (英文で 3~5 個)

なお, 和文のあらましとキーワードは必要ありません。

#### 2. 本文が英文のとき

- 論文題目 (英文)
- 著者名 (英文)
- 著者の所属, 所在地 (英文)
- あらまし (約 100 語の英文)
- キーワード (英文で 3~5 個)

### 2.4 カラー, 写真について

SITA2017 予稿集は, USB メモリで発行しますので, カラー (写真) の使用も可です。ただし, 白黒印刷をして利用することも考えられますので, 白黒印刷でも内容の把握が可能であるようご配慮ください。

### 3 論文投稿方法について

原稿は PDF ファイルでご用意下さい。論文原稿は発表申込専用サイトで受け付けます (SITA2017 ホームページ <http://www.ieice.org/ess/sita/SITA2017/> よりリンクが張ってあります)。

論文投稿システムに関するお問合せは,

[sita-2017-submit@mail.ieice.org](mailto:sita-2017-submit@mail.ieice.org)

までお願い致します。

#### 3.1 注意事項

原稿が指定の様式を満たしていることを確認して下さい。なるべく複数のシステムで PDF 原稿が閲覧・印刷できることを確認しておくことと確実です。

## 文献

- [1] SITA2016 Secretariat, "How to write a SITA2016 manuscript," The 39th Symposium on Information Theory and its Applications, 2016.